

外観



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の全国にある13事業所9分室の中で、航空技術の研究を推進する唯一の拠点。

改修前



利用者の皆様から、より安心して使える、安全で清潔なトイレ空間への改善要望があがっていたことから、全面改修が行われた。

2F男性トイレ 小便器コーナー



自動洗浄小便器は、電源不要の自己発電タイプを採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラフロアを設置している。

2F男性トイレ 大便器コーナー



コンパクト設計のフラッシュタンク式大便器に、電源不要のエコリモコンタイプのウォシュレットPSをセット。2色あるブースカラーから選ぶことができ、気分転換を図ることができる。

1F女性トイレ 洗面コーナー



フラッグシップトイレとして「輝く女性にふさわしい」トイレを目指し、優しい色合いと落ち着いた空間となった。水はねしにくい壁掛自動洗面器とクリーンドライをセット。ライニングには小物を置くことができる。

1F女性トイレ パウダールーム



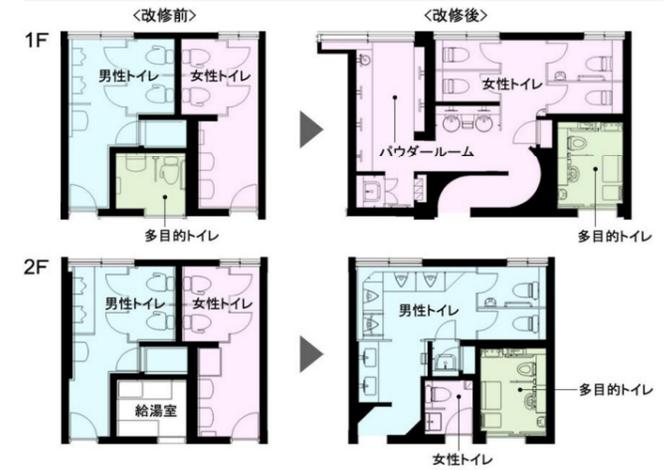
LED照明付鏡による上下左右からの柔らかな光で、お化粧しやすい空間を演出。カウンター下には荷物フック、窓側には小型の手洗器を設置。また、入口近くには小物入れが用意されている。

2F多目的トイレ



多目的トイレは、必要な設備がパッケージされたコンパクト多機能トイレパックを採用。お子様連れにも配慮し、フィッティングボード、ベビーチェア、ベビーシートも設置。1Fとは左右反転のレイアウトとしている。

トイレ図面

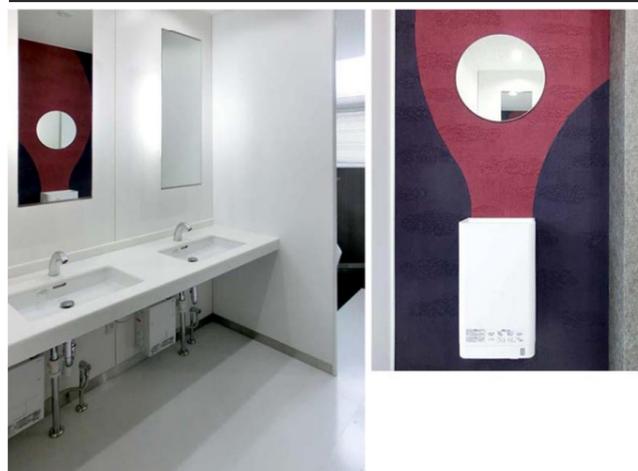


1F女性トイレ 大便器ブース



優しい色合いとデザイン・質感で構成された空間。ローシルエットのパブリック向けウォシュレット一体型便器を選定。1ヶ所ある広めのブースには、L型手すりとベビーチェアを設置。

2F男性トイレ 洗面コーナー



左：鏡裏の間接照明が空間に落ち着きを与えている。右：手を乾かしながら鏡で顔を見ることができる。壁の模様も、空間全体のアクセントとなっている。

建築概要

名称 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
調布航空宇宙センター 事務棟1号館

所在地 東京都調布市深大寺東町7-44-1

施主・監理 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

設計 株式会社ニッテイ建築設計

施工 株式会社佐藤秀

竣工年月 (改修)2017年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
調布航空宇宙センターは、JAXAの中で航空技術の研究を推進する唯一の拠点である。飛行場分室と合わせて、敷地内には研究棟、実験棟、事務棟など、52の主要な建物がある。老朽化対策として、業務改革につながるオフィス環境の改善を目指す方針のもと、事務棟1号館他3棟の全面改修が行われた。改修にあたっては「女性が使いやすくなるトイレ」を目指し、女性スタッフによる商業施設の視察や、TOTOテクニカルセンターでの情報収集を行い、設計に反映した。

<トイレの特長>
職員だけでなく、施設見学者も利用するトイレでもあることから、気分転換、リフレッシュ、癒し、新たな発想を刺激するなど、五感に訴える効果を演出。1Fは、スペースを拡張し、パウダールームを新設、照明付鏡を設置した空間は、明るくなってお化粧しやすいと、女性の満足度が向上した。男性トイレは、ブースごとに壁の色、素材を変えるなど、内装にも工夫している。多目的トイレは、1Fと2Fで左右勝手違いとし、オストメイトやお子様連れをはじめとした様々な利用者に配慮。誰もが使用しやすくなる、清潔で明るいレストルームへとイメージチェンジした。